

山梨県内議会トップ10公開 1位は山梨県議会 ピンチをチャンスに変え大きく躍進 「議会改革度調査2017」ランキング 早大マニフェスト研調べ

地方から政治を変える取り組みを行う早稲田大学マニフェスト研究所は6月22日、2017年度「議会改革度調査」の山梨県内ランキング上位を公開しました。

1位は山梨県議会で、2016年3月定例会が流会するという前代未聞のピンチを議会改革のチャンスに変えランキングを上げました。昨年は全国トップ300議会のランクインは0でしたが、今回は1つに増加しています。その他議会はランクインしませんでした。多くの議会が前年度より順位を大きくあげました。



▽詳細は以下のURLからご覧ください

<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>

▼山梨内の議会ランキングTOP10

※総合順位の300位以下もしくは前年未回答は「-」と表記。 ※山梨県内は19議会が回答（回答率68%）

順位	議会名	総合順位	前年比
1	山梨県議会	268	+118
2	中央市議会	-	+180
3	甲府市議会	-	+57
4	甲斐市議会	-	-91
5	韭崎市議会	-	+25
6	都留市議会	-	-156
7	南アルプス市議会	-	-101
8	笛吹市議会	-	+96
9	鳴沢村議会	-	+110
10	上野原市議会	-	+36

■TOP3議会、注目議会の特徴

- ・1位【山梨県議会】議会基本条例を制定したほか、子育て支援など政策型議員提案条例も制定。また国のガン対策基本法改正に即し、がん対策推進条例の検証委員会を設置し条例の改正を実施。
- ・2位【中央市議会】議会報告会等が出された住民意見を精査し、議長名で首長に提言書として提出することや議員の一般質問で活用する取り組みがあり、議会だよりで進捗状況を報告している。
- ・3位【甲府市議会】電子採決を採用した議決を実施しているほか、議会事務局職員が県内大学の講義に赴き議会活動を紹介する出前授業を実施している。
- ・注目【韭崎市議会】市内の高校生を中心に模擬議会を実施するほか、中学生や高校生を中心に市民との意見交換会やアイデア出しのワークショップを実施し、幅広く住民の意見を集約している。

▼議会改革度調査2017について

【調査概要】 2018年2月下旬にメールや郵送で調査依頼を全地方議会に送付し1,318議会が回答。

(回答率74%)。2010年度から今回で8回目の調査となる。

≫詳細：<http://www.maniken.jp/gikai/2017gaiyo.pdf>

◇ 今後、「議会改革度調査2017」の新たな情報は早大マニ研HPで公開します。

<お問合せ先> 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局：担当 永尾、青木

TEL：03-6214-1315 E-MAIL：mani@maniken.jp HP：<http://www.waseda-manifesto.jp/gikaikaikaku>